

ORCAプロジェクトの進捗状況

平成14年7月

日本医師会

ORCAプロジェクトの進捗状況

- ・ 最近の経緯 (P3~4)
- ・ ソフトウェアの名称について (P5)
- ・ 公開メーリングリストについて (P6)
- ・ 労災・自賠償への対応について (P7)
- ・ 併用禁忌データベースの公開について (P8~9)
- ・ 認定事業について (P10)
- ・ 地方公費対応について (P11)
- ・ 稼動状況について (P11)
- ・ 介護保険対応について (P13)
- ・ 電子カルテ開発キットについて (P14)
- ・ 認証局への取り組みについて (P16~18)
- ・ 資料 2002年度日医標準レセプト開発予定 (P19~26)

最近の経緯（H14.2～H14.7）

2月

ソフトウェア名称を「日医標準レセプトソフト」に
本試験運用の終了（28日）
「日医レセプトソフト」のオープンソース化（28日）
ホームページのリニューアル（28日）

3月

点数改訂への対応と改良（4回目のバージョンアップ）
公開メーリングリストの開始（15日）

4月

本運用の開始
改訂への対応と改良（7回のバージョンアップ）

最近の経緯（H14.2～H14.7）

5月

改訂への対応と改良（3回のバージョンアップ）

- ・ 労災保険に一部対応 等

「日医総研日医IT認定制度」受験応募開始（21日）

6月

「日医医薬品併用禁忌データベース」の公開（19日）

改良のためのバージョンアップ（28日）

- ・ 併用禁忌チェックの組み込み 等

7月

「認定システム主任者」講習会&試験（1,2日）

「認定インストラクター」講習会&試験（3,4日）

ソフトウェアの名称について

レセプトソフトの名称を

「日医標準レセプトソフト」とする

「ORCA」という電子カルテのプロジェクト
が欧州に既にある

商標登録がすでにある

「ORCA」はプロジェクトの名称もしくは愛
称として今後も用いる

公開メーリングリストについて

orca-users メーリングリスト (1048 名)

ORCAプロジェクト一般に関する情報交換

orca-tec メーリングリスト (315 名)

ORCAプロジェクトの技術的な情報交換

oraca-dev メーリングリスト (245 名)

開発者向けの情報交換

orca-announce メーリングリスト

ORCAプロジェクトからのお知らせ用

新バージョンの発表や修正情報 など

労災・自賠責への対応

労災の平成 14 年度改正に対応したプログラムは完成し、現在検討中（7 月現在）

専用帳簿に印刷するための機能は 7 月末の提供を予定

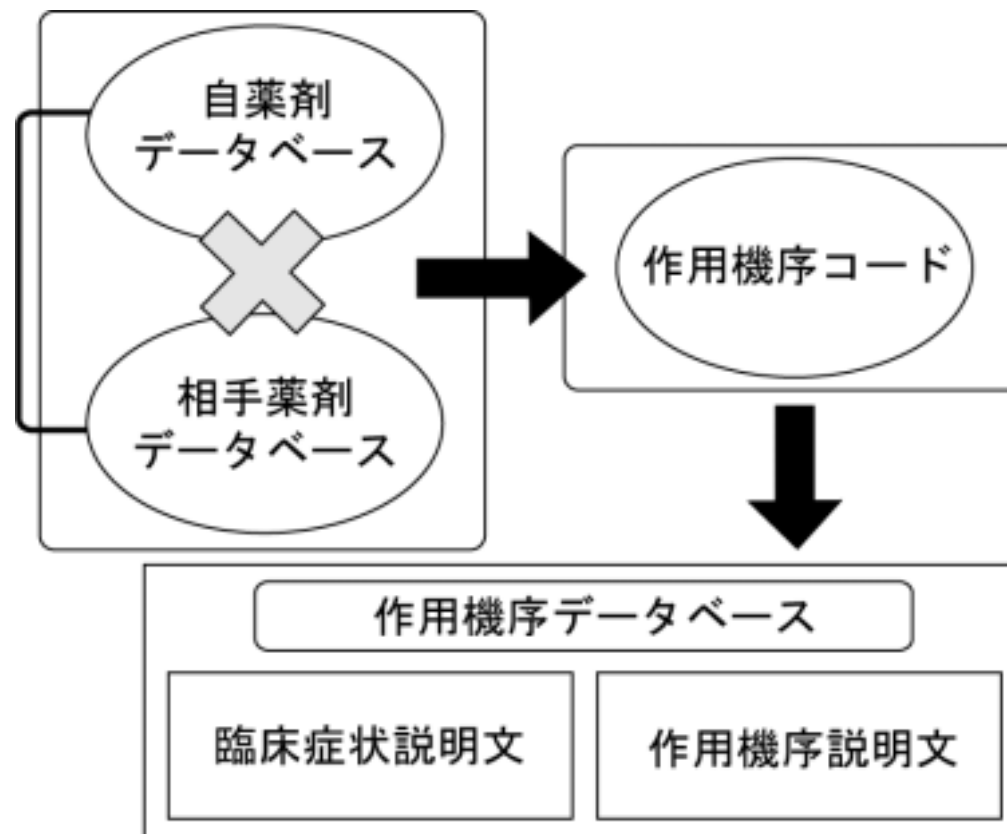
自賠責への対応は、労災での検証が終わってから機能を追加する予定

日医医薬品併用禁忌データベースの公開について

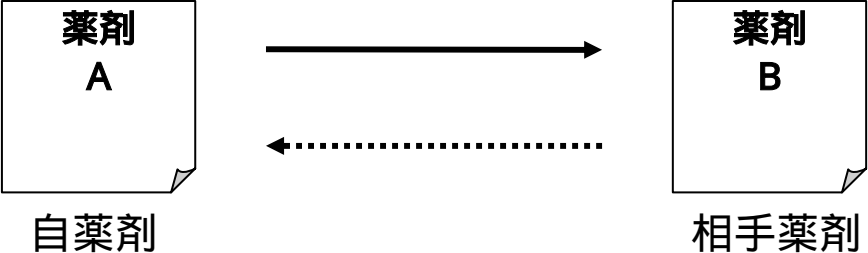
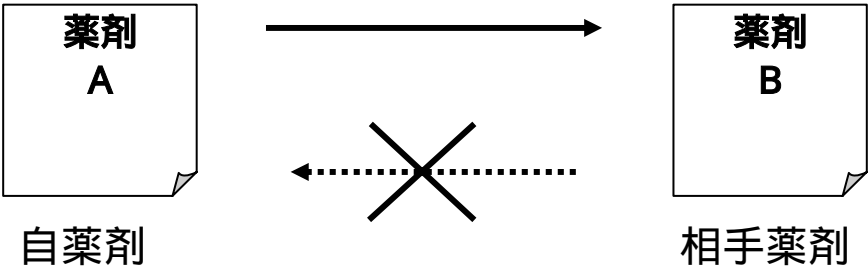
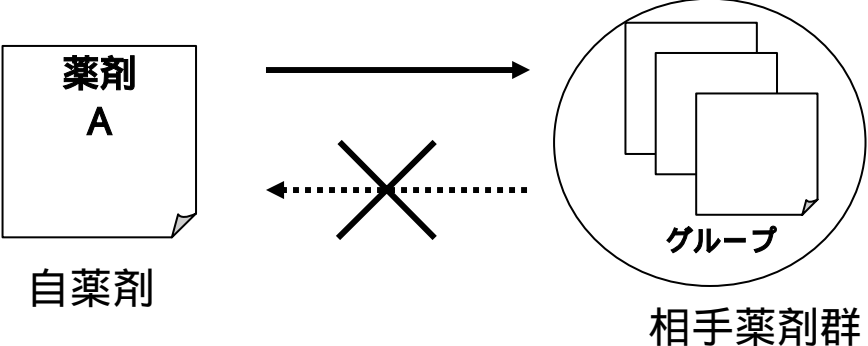
(2002年6月19日公開)

データベースの概要

- ・ 医薬品添付文書の表現には、解釈に個人差が生じたり禁忌の相手薬剤を特定できないケースがある
- ・ 医師、薬剤師が全ての併用禁忌を網羅的に記憶し、照会することは無理



相互作用記述のパターン

<p><u>双方向パターン</u></p> <p>A、Bの添付文章が互いを禁忌として指定</p>	 <p>薬剤 A 自薬剤</p> <p>薬剤 B 相手薬剤</p>		
<p><u>自他パターン</u></p> <p>相手薬剤が禁忌として自薬剤を特定していない (禁忌として見逃されやすい)</p>	 <p>薬剤 A 自薬剤</p> <p>薬剤 B 相手薬剤</p>	<p>製薬企業への個別問い合わせを実施</p>	
<p><u>曖昧特定パターン</u></p> <p>禁忌となる相手薬剤がカテゴリーもしくはグループで記述されているもの (禁忌として見逃されやすい)</p>	 <p>薬剤 A 自薬剤</p> <p>グループ 相手薬剤群</p>		

認定事業について

質の担保

健全な普及と医療ネットワーク育成のため
有資格者（事業所）を日医総研が公式に
バックアップ

「日医総研日医IT認定サポート事業所」の条件

「認定システム主任者」と「認定インストラクター」

を雇用していること

第一回受験者数（合否判定中）

認定システム主任者 91 名 / 認定インストラクター 83 名

第一回認定サポート事業所の発表は 10 月を予定

第二回認定は 8 月より募集、来年 1 月の発表を予定

地方公費対応について

県単公費（現物給付）を対象に現在作成中

約 150 公費が対象（別紙リスト参照）

7 月末より順次提供開始予定

現地での試験運用による検証が必要

稼働状況について

今年度の目標：100 医療機関以上
導入済みでレセプトも作成している

約 20 医療機関

今年中に具体的な導入の予定がある

約 65 医療機関

導入を検討中

約 75 医療機関

介護保険対応について

来年度の改正にあわせ・「給付管理 / 介護報酬請求支援ソフト」の大幅改訂を予定
施設への対応

ORCAプロジェクトの一環として吸収

JAVA言語への移植（オープンソース化）

日医標準レセプトソフトとの連携

「医見書」は主治医意見書の大きな見直し
があり次第、同様の対応を予定

電子カルテ開発キット（SDK）について

医療機関やベンダが、各々のニーズに応じた電子カルテシステムやその周辺システムを、効率的かつ容易に開発することをサポートするツール（プログラマ向け）

プロジェクト内評価版が完成

基本的な機能が中心

オーダリング

日医標準レセプトソフトとの連携

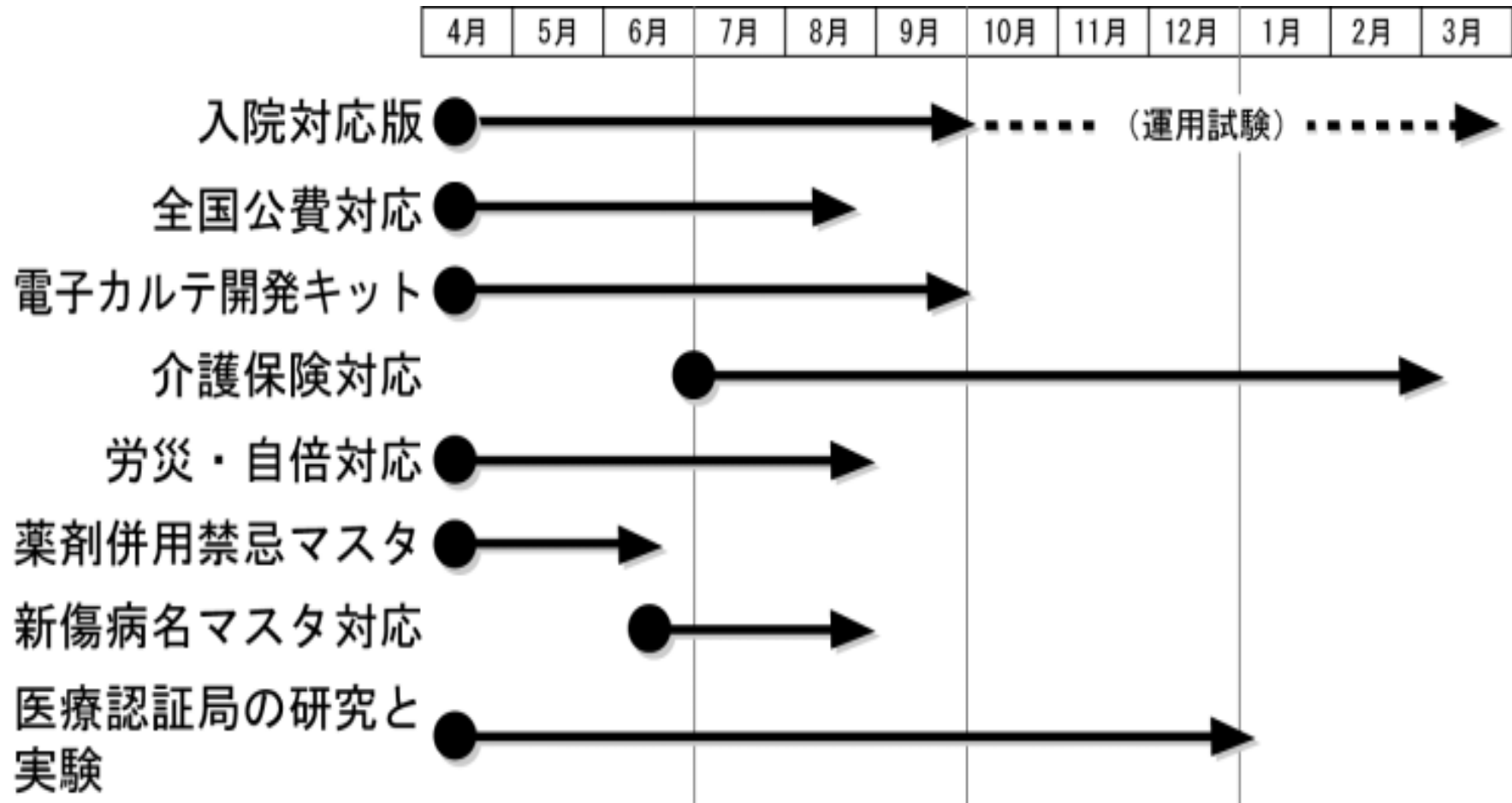
JAVA言語の採用

サーバーはLinuxとするが、端末はJAVAが動作するOSであれば利用可能

紙カルテとの併用を基本とする

SDK : Software Development

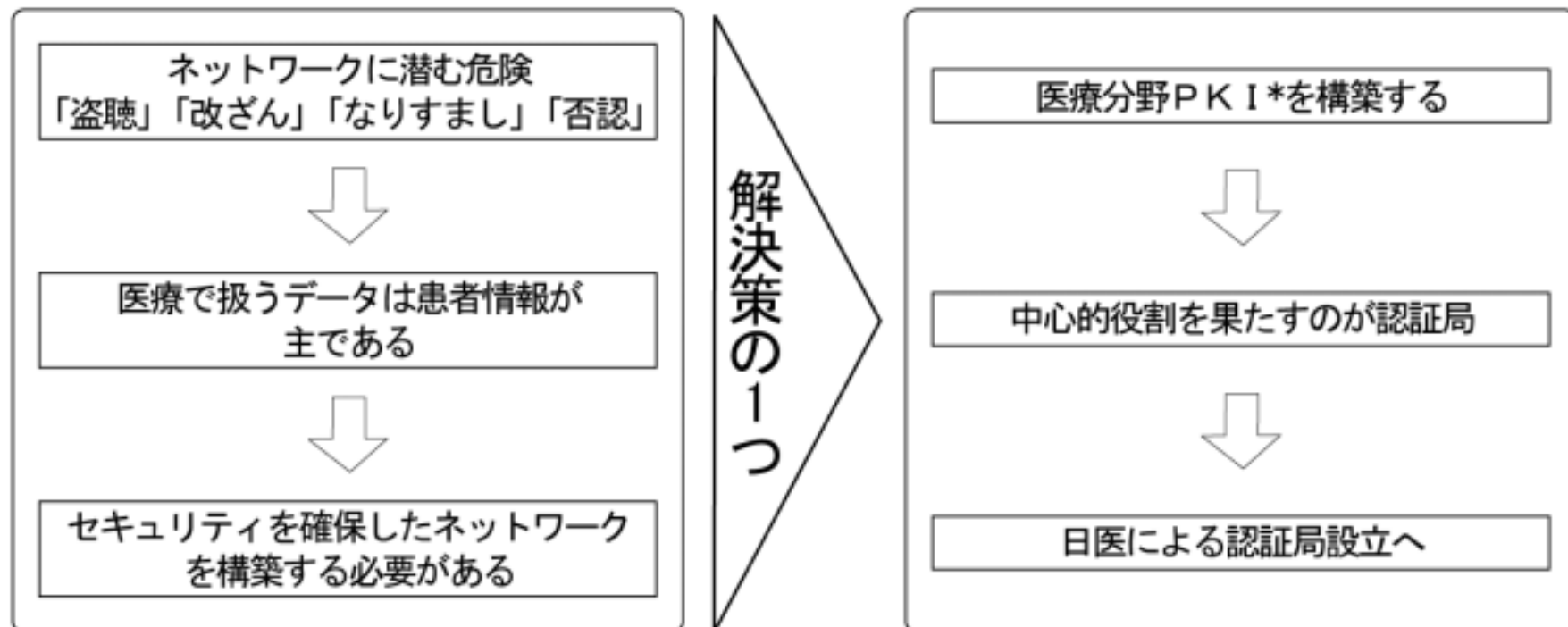
平成 14 年度開発予定(ORCA Project 全体)



認証局への取り組みについて

なぜ認証局が必要か？

医療分野もIT化・ネットワーク化は進む

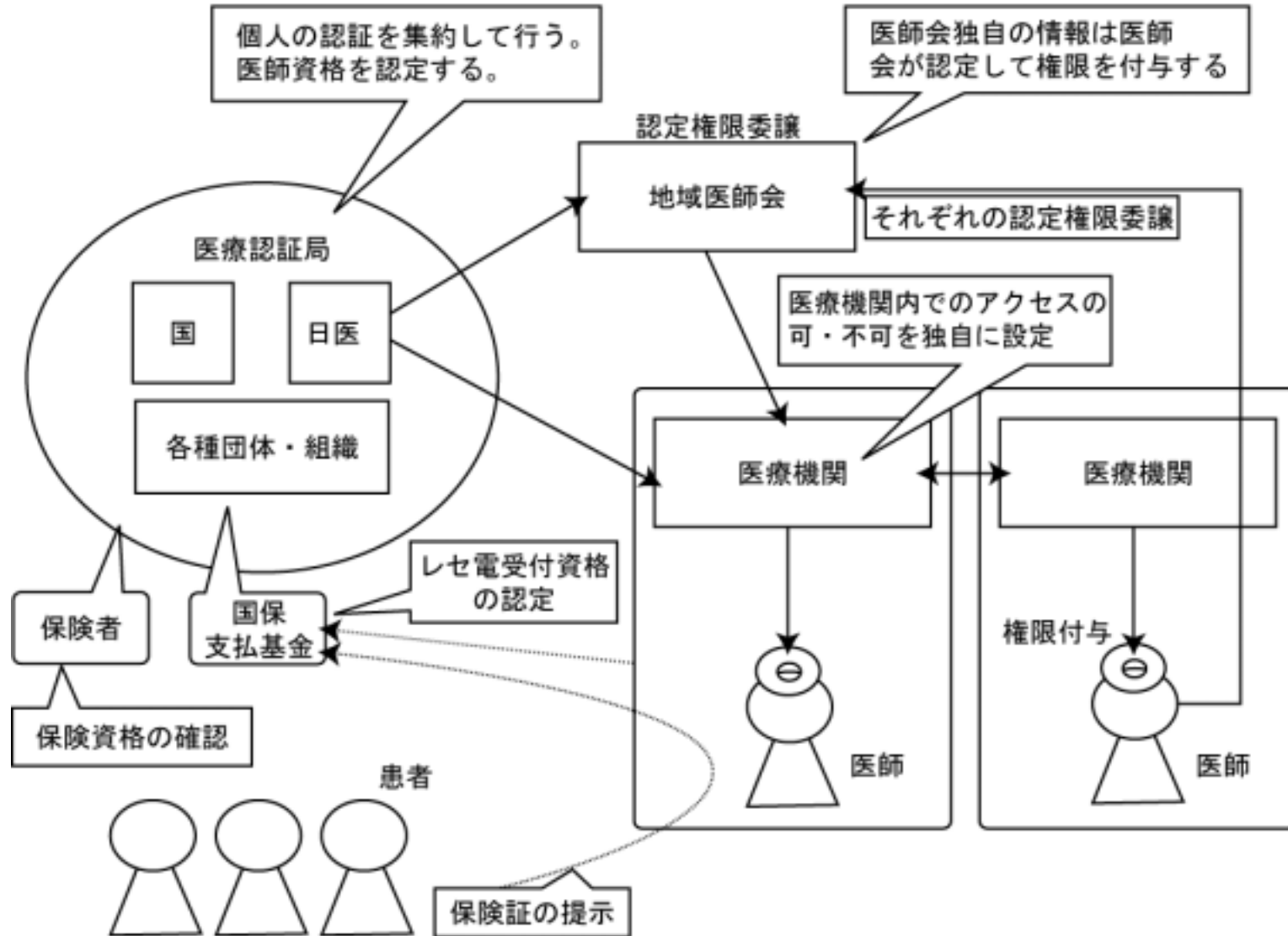


*PKI (Public Key Infrastructure) : 公開鍵暗号基盤

日医主導で認証局を構築する場合の方針（案）

1. 各種存在する資格・組織を整理するため
「認証」と「認定」を区別する
2. 日医を含めた医療認証局で「認証」を行い、
「認定」は各資格認定機関が行う
3. 医師の認証は日医で行うことが可能である
4. 認定権を地域医師会が持つことで独自性を保つ
5. 医師は一元的にまとめられるのではなく、自分の所属機関
からは適正な認定を受ける

日医主導で認証局を構築した場合の全体イメージ（案）



2002 年度日医標準レセプトソフト開発予定

項 目	公開予定
1.入院レセプト対応	
(1)システム管理(入院基本料等)	2002 年 9 月
備考:一般公開後、運用試験	
(2)入院登録・変更、退院登録	2002 年 9 月
備考:一般公開後、運用試験	
(3)入院診療行為入力	2002 年 9 月
備考:一般公開後、運用試験	
(4)入院レセプト	2002 年 10 月
備考:一般公開後、運用試験	
(5)定期請求管理	2002 年 10 月
備考:一般公開後、運用試験	
(6)他業務入院対応	2002 年 9 月
備考:一般公開後、運用試験	
(7)日報等統計	2002 年 9 月
備考:一般公開後、運用試験	

項 目	公開予定
2.日医標準レセプトソフトの進化	
(1).運用面の進化	
院内複数マシンへのインストール自動化	2002 年 10 月
備考:2代目はミラー。3台目以降はNFSで検討。ドキュメントを作成	
リカバリ機能強化(運用別に対応等)	2002 年 9 月
備考:センターバックアップの時間設定ができるようにするなど	
算定ロジックのDB化	2003 年 4 月
備考:2003 年 4 月改正時から対応	
プロトコルの整理	2003 年 4 月
備考:プロトコルの整理をし通信量を減らす処理。進化機能	
セキュリティポリシー	2002 年 9 月
備考:基本ポリシーを元に個々のポリシーを作成する	
センターサーバドキュメント作成	2002 年 9 月
備考:セキュリティポリシーに合わせて公開を行う	
IPv6 による診療所、サポートベンダー接続	2002 年 9 月
備考:セキュリティポリシーに合わせて公開を行う	

項 目	公開予定
トンネルサーバの1台あたりの接続数増加試験	2002年8月
備考:現状256ユーザーを増やして運用できるか試験を行う	
トンネルサーバの複数台対応	2002年8月
備考:RADIUS等を検討する	
IPv6による遠隔操作	2002年9月
備考:診療所と自宅でORCAの接続を行う セキュリティポリシーに合わせて公開を行う	
IPv6&IPv4通信速度表示CGI	2002年7月
備考:	
(2).高速化・安定化の進化	
WOODY対応 調査・対応	2002年9月
備考:WOODYへの移行時期については調査・対応後検討する	
COBOLプログラムの安定化、高速化作業	随時
備考:	
COBOLソース自動再コンパイル機能	2002年9月
備考:	
MONTSUQIの安定化、高速化	随時

項 目	公開予定
備考:	
帳簿フォームとCOBOLデータの対応を自動化	2003年3月
備考: 帳簿レイアウト変更時の手作業を自動化	
排泄制御機能	2002年8月
備考:	
(3).操作面の進化	
ブラウザ(HTML)での使用	2002年9月
備考: ブラウザでの使用方法のサンプルとドキュメントを作成する セキュリティポリシーに合わせて公開を行う	
業務メニュー画面ブラウザ機能の向上	2003年3月
備考:	
プレビュー対応	2003年3月
備考: 通信方法がSSHによる対応予定	
再印刷機能(アプリ対応)	2002年8月
備考: 印刷トラブル時の対応(プリンタ複数台対応) 印刷情報をためておき、再印刷(ページ指定化)を行う	
再印刷機能(ミドル対応)	2003年3月
備考:	

項 目	公開予定
フォーカスアウトの仕様	2002 年 9 月
備考: テンキーのエンターとエンターの使い方を変えて対応	
色、リバーズ表示	2003 年 3 月
備考: ラベル、テキスト、ボタンのWidgetについて対応	
砂時計	2002 年 9 月
備考: 検索時などの待ち表示機能	
プログレスバー表示	2002 年 9 月
備考: バッチ処理などの進捗表示機能	
タイマー起動ポストタイムメッセージウィジェット	2002 年 9 月
備考: 一定時間未入力時にサーバーへのアクセスを行う機能	
患者照会業務追加 ・患者照会業務追加 ・同業務から患者情報のCSV出力対応	2002 年 6 月
備考: 備考: 患者一覧、葉書の宛名印刷等に利用する	
受付 ・保険確認機能追加	2002 年 7 月
備考: 患者登録画面でしかできない保険確認を受付画面でもできるようにする	

項 目	公開予定
<p>患者登録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カナ氏名から漢字氏名変換対応 ・保険情報、公費情報の直接登録・修正 ・矢印での自由移動対応 	<p>2002 年 6 月</p> <p>2002 年 7 月</p> <p>2002 年 7 月</p>
<p>備考: 人名 DB 作成により対応</p> <p>備考:</p> <p>備考:</p>	
<p>診療行為</p> <ul style="list-style-type: none"> ・D O 検索時の内容表示対応 ・ダブルクリック時の画面フリーズ対応 ・矢印での自由移動対応 	<p>2002 年 6 月</p> <p>2002 年 9 月</p> <p>2002 年 7 月</p>
<p>備考: 指定した日が診察料のみの時の内容表示を行う</p> <p>備考: 検索待ち表示時に砂時計表示し、入力項目のロックを行う</p> <p>備考:</p>	
<p>請求確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入金対応 ・未収金対応 	<p>2002 年 12 月</p> <p>2002 年 12 月</p>
<p>備考: 入金額欄に請求額以上の入力を可能とする</p> <p>備考: 未収金の表示を行い、入金される額が今回分か未収分かを選択できるように対応する</p>	

項 目	公開予定
レセプト ・該当月の各種内容を画面表示対応 ・出力区別と通し番号の印字対応	2003年3月 2002年7月
備考:ビューア機能実装後、対応する 備考:	
収納 ・1患者の出入金の画面表示対応 ・請求履歴の画面表示機能向上	2002年8月 2002年9月
備考:診療科の選択等を考慮するが、診療科、保険自費問わず 当該患者の全ての出入金を把握できるよう対応する 備考:請求履歴の画面が別画面として表示されるので同一画面表示として考慮する	
(4).他システムとの接続	
CLAIM対応	2002年9月
備考:	
(5).移植性等に関する機能追加と向上	
JAVA対応	2003年4月
備考:	

項 目	公開予定
3. データベースマスタの維持・メンテナンス	
(1).マスタメンテ	
禁忌マスタ	2002 年 6 月
備考: リリース後、マスタメンテとして随時メンテナンスを行う	
病名マスタ	2002 年 6 月
備考: リリース後、マスタメンテとして随時メンテナンスを行う	
点数マスタ	随時
備考: マスタメンテとして随時メンテナンスを行う	
併算的マスタ	2002 年 9 月
備考: リリース後、マスタメンテとして随時メンテナンスを行う	
保険者マスタ	随時
備考: マスタメンテとして随時メンテナンスを行う	
住所マスタ	随時
備考: マスタメンテとして随時メンテナンスを行う	